

大仙の団体 ウクライナに170台支援

地雷撤去 探知機役立てて

ロシアによる軍事侵攻を受けるウクライナを支援する大仙市の市民団体「ウク

ライナストークプロジェクト」が、ロシア軍が仕掛けた地雷の撤去に使う金属探



金属探知機や支援物資を積んだトラックを見詰める佐々木さん

知機170台をウクライナ政府宛てに送った。

団体代表の佐々木正光さん(73)は、同市で住宅設備管理などを手掛ける会社の経営者。昨年9月、金属探知機5台を提供するために現地を訪れた際、地雷が想像以上に市民生活の大きな脅威となっていることを知った。

多くの探知機が求められている実態を踏まえ、佐々木さんは帰国後、クラウドファンディング(CF)で資金を募り、1万4千4万円の米国製探知機170台を約200万円で購入。全国から寄せられた車いすや毛布、防寒具などの支援物資

も合わせて送った。

探知機などは1日に発送

され、順調ならば60日程度

で現地に到着するという。

佐々木さんは「多くの民間

人が地雷の被害を受けてい

る。これからも資金を募っ

て探知機を送り続けたい」と話している。

佐々木さんはこれまで

に、ウクライナから秋田県

に避難してきた母娘を受け

入れたほか、医療品などを

送る活動をしてきた。